

## 平成29年度 磐田市立竜洋中学校 学校評価書

A:十分満足 B:おおむね満足 C:もう少し努力すべき D:大いに努力が必要

重点	目標・取組	評価指標	H29 到達度	自己 評価	考察	学校関係者評価委員から
安心安全な学校	生徒一人ひとりにとって安心して学ぶことができる人的、物的環境を整える。	「学校生活を楽しんでいる」と答える生徒90%以上	95%	A	目標は達成できた。しかし、楽しくないと感じている生徒が5%いることを意識し、今まで以上に安心安全な学校生活を送ることができるよう個々の生徒の支援を図っていききたい。	<p>・多くの生徒が「楽しく学校生活を送っている」と感じているのはありがたいことである。いろいろな行事の様子を見ると、先生方の熱心な取り組みを感じる場面がある。</p> <p>・いじめが社会問題として取り上げられている。毎月アンケートを実施して、生徒の様子を確認しているようだが、それだけにとどまらず、5%の学校を楽しいと感じていない生徒に、今以上に目を向けてほしい。また、そのような点について小学校とも連携してほしい。</p>
		「先生はあなたのことを理解してくれている」と答える生徒90%以上	90%	B	今年度は、「生活の悩みアンケート」として、毎月はじめに全校生徒にアンケートをとった。それにより、気になる記述があれば、すぐに職員が対応した成果だと思われる。	
		「学校に学習や生活面での相談事や悩み事に適切に応じてくれる人がいる」と答える生徒90%以上	93%	B	上記と同様の成果と思われる。学習面では定期テスト前の学習相談を全員必修にした。今後も、生徒や保護者のアンケートを元に、個への支援を進めていきたい。	
確かな学力の育成	授業改善を常に意識し、生徒が活動しやすい授業構想を練り、生徒にとって「わかる授業」を実践する。	「授業がわかる」と答える生徒80%以上	88%	A	多くの職員が、授業改善を意識し、確実に取り組むことができている。その結果、目標を達成することができた。しかし、個の学力差の広がりや、学年が上がるにつれて大きくなってきているので、さらに授業改善を図りながら進めていきたい。	<p>・授業改善として、活動を多く取り入れた授業を展開することが、生徒の意欲を高め、進んで学習しようとするにつながるのではないかと。さらに、積極的に授業改善を図ってほしい。</p>
	授業の方法を改善し、自分で調べたり、仲間とともに考えたりするなどの活動を取り入れる。	「進んで先生に聞いたり自分で調べたりして学習している」と答える生徒75%以上	76%	B	上記と同様に、授業改善の成果を感じている。新学習指導要領に示されている「主体的・対話的で深い学び」の実践に向け、さらなる研究を進めていく必要がある。	
主体的に考え、ともに学び、実行する生徒の育成	学校行事や委員会活動、部活動など、生徒が主体的に取り組むと共に、個を育て一人一人の向上につなげる。	「生徒会や学級の係活動、部活動にしっかり取り組んでいる」と答える生徒95%以上	95%	B	熱心に生徒会活動、部活動に取り組んでいる姿が見受けられる。生徒会においても、自主的な活動が見えるようになってきているので、さらに意識が高揚するよう支えていきたい。	<p>・学校行事などに取り組む姿勢は、たいへん熱心であることが、当日の様子からもよくわかる。いろいろな活動を通して、授業だけでは得られないものが身につくと思うので、継続して続けてほしい。</p>
		「互いにルールを守り、協力する雰囲気がある」と答える生徒90%以上	87%	C	目標数値を下回っている。一部の生徒に「これくらい」という思いがでてきている。生徒同士で注意し合えるような厳しくも、温かい人間関係づくりを進めていきたい。	
小中一貫教育の推進	地球の様々な課題を自分ごととしてとらえ、足下から行動するとともに、周りの人々とのプラスの関わり合いを持つことで、自己存在感、自己有用感を高める。	「中学生として小学生や幼稚園児にやさしくできた」と答える生徒90%以上	98%	A	学府大交流会(6月)を通して、小学生と接した結果や幼稚園や小学校でのボランティア活動が反映されていると考えられる。次年度も、本年度の内容を継続して進めていきたい。	<p>・学府大交流会が行われて、2回目になるが、昨年度よりも定着してきたと感じる。地域での小中学生の関わりがほとんど無いので、地域としてもこの行事を大切にしている。</p>

### 学校関係者評価を受けてのまとめ

・前年度と比べ、生徒の評価が多くの項目で高くなっている。授業改善として、多くの活動を取り入れ「わかる授業」を目指した結果、「学校が楽しい」「授業がわかる」「進んで学習する」などの評価が高くなったと考えられる。学校生活のすべての基盤が、授業であることを再認識し、今後も授業改善に取り組んでいきたい。

・生徒、保護者の評価に加え、学校関係者評価からも「安心安全な学校」の経営に関しては、高い評価をいただいた。しかし、不安を抱えている生徒もいるということにしっかりと目を向け、個々の生徒の支援をしていかなければならない。

・保幼小中一貫教育の推進、コミュニティスクールの推進のため、学府カレンダーの作成などにも取り組んできた。学校公開日の設定なども本年度から実施し、保護者や地域を巻き込んだ活動を積極的に推進してきた。学校や生徒の様子を外から見るだけでなく、生徒と直に触れ合って活動をともにすることで、「安心安全な学校」を作り出せると考える。